

TAPIO2

スピード電気バリカン

取扱説明書



このたびは、スピードクリッパー“タピオ2”をお買い上げいただき、誠に有難うございます。私達はこの品が、皆様方のお役に立つことを心から願っております。持てる性能を、十二分にご活用いただけますよう、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくご使用ください。

▲クリッパー本体に関する注意

- 1 本体にセットする替刃はスピードの純正品以外はご使用なさいないでください。
- 2 本製品は本体・替刃ともに水分を嫌います。水気の近くでご使用もやめください。状況によって感電することがあります。
- 3 作動中はしっかり本体を持って操作してください。お使いにならない時は、表面が落下しないように気をつけてください。また、お子様の手の届かないところに保管してください。
- 4 お客様ご自身の分解・改造・修理はおやめください。
- 5 使用されない時や、スイッチを入れても作動しない時は必ず電源からプラグを持って抜いてください。電源コードや差込プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるい時には使用しないでください。替刃で傷ついたコードはショートしやすく、時には発火いたします。コードが傷ついた場合はただちにプラグを抜き弊社までお送りください。
- 6 アリ(替刃を取り付ける金属の凹部分)側面部にあります小ネジは、替刃が抜けやすくなったときに少しずつ締めて調整してください。小ネジを締め過ぎますと替刃が根元まで入らなくなります。緩め過ぎますと小ネジがご使用中に解け落ちることがあります。小ネジがとれますと、内部のバネとボールも抜け落ちます。それぞれ小さく紛失しやすいものですから、そのためにも締め過ぎにご注意ください。また、替刃をつけた状態で小ネジを締め過ぎますと替刃が抜けやすくなります。緩め過ぎますと替刃が落下し、刃折れを引き起こします。
- 7 **替刃は刃物です。思わぬことで怪我(ケガ)をすることもあります。慎重にお取り扱いください。**
- 8 替刃は鋼材の上刃と下刃が擦り合わせて切れています。そのためどうしても摩擦熱が発生してしまいます。長時間ご使用になる方は予備の替刃を用意され、交互にお使いになれるようお勧めいたします。替刃での火傷の防止になります。

ペットトリミングでご使用の方へ

- 1 ペットの毛のもつれ毛や砂等異物がないう。シャンプーやブラッシングをさせてからご使用ください。もつれ毛や異物があると替刃の切れ味を劣化させたり、刃こぼれの要因となります。また、毛は十分に乾かしてください。水気は故障の要因となります。
 - 2 刃をセットしてください。新品時の替刃は最もよく切れる状態にセッティングされています。表面の油だけ拭き取り、どこもいじらずそのままお使いください。分解等されますと切れなくなる場合がありますので、ご注意ください。
 - 3 トリミングの作業中は、ゆっくりクリッパーをお進めください。切り取る以上のスピードで進めると毛が替刃につまり、クリッパーが刈り取っていきません。そのようなことを繰り返しますと替刃の劣化につながります。
 - 4 トリミングが終わりましたら、ブラシで替刃についた毛を裏と前方向に向けて払い落としてください。刃の分解は必要ありません。また、上刃と下刃の接触面に(刃先と後方のレール部分)注油してください。鎖を予防し替刃の切れ味保持に有効です。注油は本体に付属の刃のオイルもしくは市販のミネン油等をご使用ください。
- 替刃のmm(ミリ)表示は毛の生えている方向と逆のほうから刈り上げた場合、刈り残るmm数です。ペットの身体は柔らかく動きますのでmm表示を参考数値にしてください。また、毛の生える方向に沿わせて、刈られますと表示以上に刈り残ります。
- [注]クリッパーの操作に慣れるまでは、6mmまでをお勧めいたします。mm数の大きい替刃は毛がすくい上げにくく、重さのバランスもとりにくく、熟練を要します。

仕様と特徴

型式 スピーディック 電気バリカン SP-3N型

名称 “TAPIO2” タピオ2

電 源	AC100V. 50/60Hz
消費電力	5W
振 幅 数	約1500~1600/分
ボディカラー	ネイビー・ピンク
サ イ ズ	L=約150 W=約45 H=約35 (mm)
重 量	約290g
コードの長さ	約2.4m

- 特徴
- ★安心・安全・使いやすさを追求した国内生産品です。
 - ★ボディは手にフィットする形状を採用し、軽量小型化にしています。
 - ★熟を持ちにくい高性能マイクロモーターを使用しています。
 - ★利便性の高いフック式金具やスイッチなど細部にも様々な工夫を凝らしています。
 - ★業務用小型バリカンとして最高の切れ味と操作性を兼ね備えています。

ボディカラーは2色あります



アフターサービスについて

- 1 ご購入後すぐに異常が起きた場合は、内部機構や替刃に手を触れずお求めの販売店へお出しになるか、直接当社へお送りください。当社にて完全修理の上ご返送いたします。(点検調査の後、保証範囲内かどうか判断させていただきます。落とされた場合などは有償となります。修理・刃研の仕上がりが直後も同様です。)一般の故障時も、同様に手をつけずそのままの状態でお送り願います。
- 2 切れなくなった替刃は、当社で研磨いたします。ハサミや包丁とは研磨方法異なりますので、当社にお送りください。研ぎシロがなくならぬまで度研磨でき、新品同様の切れ味が戻ります。
- 3 修理品・刃研品をお送りいただく場合下記のごとにご留意ください。
 - お名前・ご住所・郵便番号・電話番号は必ずお書きください。
 - 輸送中の事故がないよう、本体は箱に入れ詰め物で固定してください。替刃は折れやすいので、備え付けのキャップをかぶせか、厚紙でキャップをつくるなど、特にご注意ください。
 - できるだけ早くお手元にお戻しできるよう努力いたしておりますが、時期によって、修理・刃研に1カ月以上かかることもございます。なにぞご理解の上お願いいたします。
- 4 **当社ではこのクリッパーの補修部品を製造打ち切り後、5年間は在庫しております。**安心してお使いください。
- 5 **当社製品には保証書はございません。**当社製品はユーザー様により使用頻度の個人差が大きく、日数でははかれないからです。かといって保証修理をしないわけではありません。当社の熟練担当者が使用頻度を使用頻度・《無償修理》・《有償修理》を判断をさせていただきます。
- 6 この製品に関するご質問、又ご不明な点がございましたら、当社までお気軽にお問い合わせください。また、弊社ホームページをご覧ください。

スピード株式会社

<https://www.speedik.co.jp>



スピード電気の替刃

替刃はクリッパーの命です。切れ味、そして耐久性が必要です。例えばペットの毛など柔らかく「コシ」がない毛に対しても、特に鋭い切れ味とその切れ味を保持させる耐久性が不可欠の条件です。当社ではそのような条件を満たし、ご愛用の方々に喜ばれ、また信頼される替刃造りを日々心がけております。替刃をお求めの際には切れ味の鋭い、当社製品 SPEEDIK 印とご指名ください。SPEEDIK 印の替刃は当社製クリッパー全ての製品に共通してご使用できます。当社では下記の製品等11種類の替刃を製造しております。

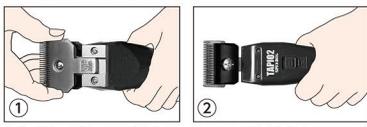
伝統の刃



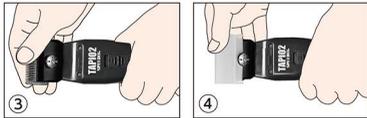
使用方法

■ 本製品は当社他の製品と同様に差込式になっています。下記の写真のように本体の凹部分(四角凹のついた金属部)に替刃をセットしてください。

■ A. 刃を差し込む(セットする)



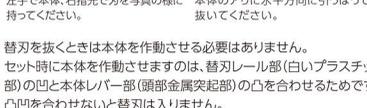
① 左手で本体、右指先で刃を写真のように本体の凹へ途中まで差し込みます。



② 次にスイッチを入れます。モーターが動かし、本体の最前部にあるレバー(振子)が振動します。



③ 刃を根元まで押し入れれば装着完了です。



④ 安全の為、替刃にキャップを被せてセットすることをお勧めいたします。

- ※ 替刃を抜くときは本体を作動させる必要はありません。
- ※ セット時に本体を作動させますのは、替刃レール部(白いプラスチック部)の凹と本体レバー部(頭部金属突起部)の凸を合わせるためです。凸凹を合わせないと替刃は入りません。

▲使用中に起り得る現象及び対処法

■ 本体及び替刃の発熱について
本製品はJET(電気安全環境研究所電気製品安全センター)が定めた定格10分(連続10分使用時におけるバリカン本体及び替刃の温度上昇値)をクリアしております。連続使用における10分以上の使用で発熱がありますが、その際は一度バリカンの作動を中止してしばらく時間をおいた後ご使用ください。替刃の発熱ですが、金属同士の摩擦により熱を持ちますのでその際も一度バリカンの作動を止めて冷まされる事をおすすめします。

■ **[重要] 本体が一時停止することについて**
使用中バリカンが異常高温になった場合、急に作動が止まる場合があります。これは故障でなく、**本体を守るための安全装置の電子部品ポジスターが働き一時的に停止させているから**です。しばらくして温度が下がれば復活し、再び動き使用することができます。この現象が起きる原因はほとんどが替刃の状態によるものです。**替刃への注油不足**や**レット**とよばれる**ネジの締め過ぎ**により本体に負荷をかけているからなのです。また**長時間の連続使用**によって停止することもあります。

- [予防法]
- 1 本書別欄の「替刃に関する注意-1」の③及⑤をご参照ください。
 - 2 長時間の連続使用は出来るだけ避けてください。

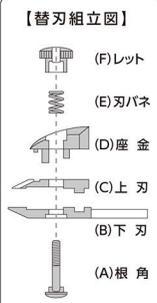
※ 注油する油に関して
弊社純正オイル(本体同梱)及び別売の**「フレードクーリング」**をご使用ください。純正オイルがない場合は市販のミネン油をご使用ください。シリコン系入り剤のものや消毒洗浄効果のあるものは避けてください。

▲替刃に関する注意 - 1

- 1 スピーディック純正替刃はスピード以外のクリッパーにご使用なさいないでください。
- 2 替刃の刃先は細く、薄く、大変折れやすいものです。落としたり、ぶつたりなさいないように、お取り扱いには十分ご注意ください。
- 3 **レット(替刃上部のネジ)はいじらないでください。**新品時は最良の位置にセットされています。最良の位置は1丁、1丁微妙な違い、出荷時に調整しております。レットを緩め過ぎると上刃と下刃に隙間が開き、毛が入り込んで替刃が急に切れなくなる原因になります。レットを締め過ぎると負荷がかかり、替刃が高温を持ったり、本体の故障につながります。万一レットを動かしてしまわれたら、レットを一度手でいっぱいまで締め、そして半回転から一回転ほど戻してください。
- 4 替刃の掃除はブラシで毛を払う程度で結構です。
- 5 **注油は非常に大切**です。上刃と下刃の接触面(前方の刃先と後方のレール部)、座金(黒いプラスチック部)と上刃の接触面に、純正刃オイル(付属しているオイル)をご使用前の後に1~2滴注油してください。使用前は替刃の摩擦熱を抑え、本体への負担も軽減されます。表面の余分なオイルはきれいな布で拭き取ってください。使用後は鎖の予防に有効で、切れ味を保つのに効果があります。ブラシで替刃の毛をよ払ってから注油してください。注油は本体に付属の刃のオイルもしくは市販のミネン油等をご使用ください。
- 6 替刃が抜け落ちたり、ガタガタするのはほとんどアリの問題です。(アリは本体頭部の四角い金属部分で、替刃と本体のジョイント部です)アリの側面の小ネジを締めてください。それとも異常があれば、アリの□部分が□に変形していませんか。何らかの変形があれば、アリの交換が必要ですが。
- 7 順調に替刃が切れているときは、替刃の分解掃除は必要ありません。分解すると微妙な調整が狂い、逆に切れなくなる場合があります。

▲替刃に関する注意 - 2

- **替刃をやむをえず分解された場合の組み立て方**
- 1 上刃と下刃の接触面に、毛やゴミ等の異物がないう。間違いなく確認してください。異物があれば、きれいな布で丁寧に拭き取ってください。
 - 2 根角(A)に下刃(B)を挿入します。**[注]**根角(A)の頭部にある四角部を下刃(B)の四角穴にきちんとはめてください。
 - 3 次に上刃(C)を挿入します。下刃(B)のレール受けに上刃(C)のレール(白いプラスチック)をきっちりとはめてください。
 - 4 次に座金(D)を挿入します。**[注]**座金(D)中央部2本の金属ピンを下刃(B)の穴にしっかりとはめてください。座金(D)前方部のプラスチックの突起部(レール状)を上刃(C)の溝にきちんとはめてください。
 - 5 次に刃バネ(E)を挿入します。**[注]**④と③の動作は順序を間違いないやうにご注意ください。
 - 6 レット(F)を根角(A)に締めつけてください。**[注]**レット(F)は一度いっぱいまで締め、半回転から一回転ほど戻してください。
 - 7 上刃(C)や座金(D)にガタつきがないか確認してください。ガタつきがあれば③又は④からやり直してください。



※作業中、指等でレットを押え込む方が、きちんと組み立てられます。
※組み立て方がズレますと、それまで切れていた替刃も切れなくなります。再度組み直しても切れない時は、当社まで研磨にお出しく下さい。